

富士の麓に住みはじめて、すでに31年になるが、その北麓のなんと広いことか！ はじめの10年間に家族で歩いたのは、近くの石割山、三国山、大平山、大出山という山中湖をぐるっと取り囲む、標高1400メートル前後の近場の尾根だけだった。その後の10年間は湖畔の児童養護施設に保母として勤めていたり、業務用のパンを焼いて稼ぐことに忙しくて、ほとんど山歩きをしなかった。

トレッキングシューズを買ったのは、喫茶店をはじめて、お客さんからさまざまな自然情報があるようになってからだった。植物や野鳥の名前をおそわり、その延長でハイキングにさそわれて、樹海の中に点在する洞窟や溶岩樹型を訪れ、数々の東海遊歩道を歩くようになった。山梨放送のTV番組「富士山麓日記」の映像カメラマンである伊藤浩美さんとの出逢いが、わたしたち夫婦の生活を大きくかえたと思う。伊藤さんに案内していただいた山麓の魅力スポットは数知れず、それも山頂をめざす山登りではなく、足元の生き物たちの発見、観察を軸に、寄り道をしながらくっくり歩く楽しみ方までおそわった。

つい最近も、中の茶屋から吉田口登山道を脇にそれ、滑沢沿いを馬返しまで、スリル満点の行程を案内していただいた。富士の麓に、深い森や獣道が人知れず息をこらしているのは想像できるが、まさか巨大な玄武岩の滑沢まで隠れているとは、夢にも思わなかった。